

民間の創意工夫を最大限発揮したスポーツ施設PFI事業

- ① 兵庫県初のPFI事業 ～「尼崎 21 世紀の森構想」のリーディングプロジェクト～
- ② 民間事業者の創意工夫を最大限に発揮した自由提案の活用
- ③ 多様なプログラムの実施や民間事業者発案の料金設定等による当初需要予測を上回る利用者数の実現

1 事業の概要

公共施設の管理者	兵庫県	
施設概要	所在地	尼崎市扇町 14 丁目 1 番
	敷地面積	約 35,000 m ²
	延床面積	約 16,020 m ²
	施設内容	プール施設、健康増進施設
事業期間	約 20 年（設計・建設約 3 年、維持管理・運営約 17 年）	
施設の所有形態	BTO 方式	
事業類型	混合型	
総事業費	約 120 億円（税込み、契約金額）	
選定事業者の業務内容	施設の設計・建設、維持管理、運営業務	
経緯	実施方針公表	平成 15（2003）年 01 月 20 日
	特定事業選定	平成 15（2003）年 04 月 14 日
	入札公告	平成 15（2003）年 04 月 21 日
	落札者決定	平成 15（2003）年 09 月 12 日
	契約締結	平成 15（2003）年 12 月 22 日
	供用開始	平成 18（2006）年 05 月 31 日 （スケートリンク：平成 18（2006）年 11 月 18 日）

2 本事業の特徴

① 兵庫県初のPFI事業 ～「尼崎 21 世紀の森構想」のリーディングプロジェクト～

尼崎臨海地区は、戦後重化学工業を中心として発展してきた反面、公害の発生等環境面での課題を抱えていた。また、近年の産業構造の変化等により工場等の遊休地が発生する等、地域の活力が低下しており、その再生が望まれていた。

このような状況を踏まえて、尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、平成



14 (2002) 年 3 月、「森と水と人が共生する環境創造のまち」をテーマとした「尼崎 21 世紀の森構想」が策定された。本事業は、「尼崎 21 世紀の森構想」実現のリーディングプロジェクトに位置付けられている尼崎の森中央緑地において、スポーツ健康エリアの主要施設として、兵庫県初の PFI 事業として事業化が進められることとなった。

② 民間事業者の創意工夫を最大限に発揮した自由提案の活用

事業者募集の段階で県が具体的な要求水準を示した施設は、「メインプール (50m) / アイススケートリンク」、「サブプール (25m)」のみであり、その他の健康増進施設については、民間の創意工夫を最大限に活用するため、案を例示するにとどめ、具体的な内容 (施設計画、運営・維持管理の方法等) については、民間事業者の自由提案とした。その結果、民間事業者からは、フィットネス施設、森のこども広場、森のギャラリー、回遊廊、ウォーターパーク (屋外プール)、グラウンドゴルフ (16 ホール)、フットサルコート (3 面)、のじぎく広場 (多目的広場) と多岐にわたる施設の提案がなされ、PFI 事業として実施されている。

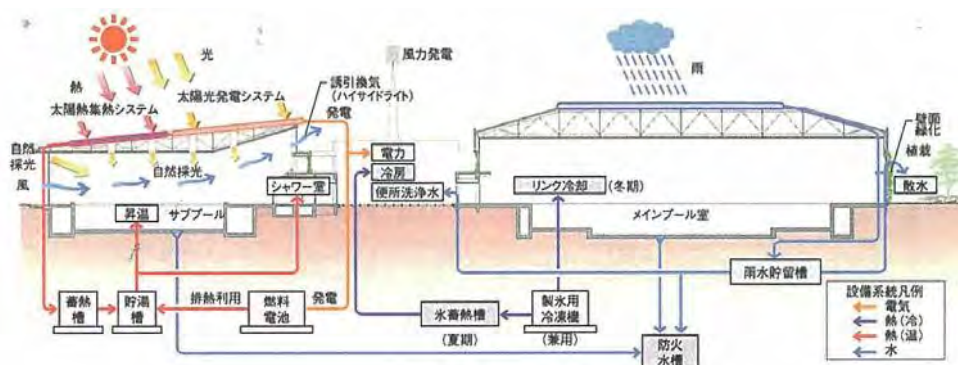
③ 「健康・文化の森」というコンセプトを体現した施設整備

施設のデザイン面においては、「健康・文化の森」というコンセプトに基づき、モスグリーンを基調とした壁面デザインや屋上緑化、壁面緑化、芝生駐車場 (「グラスパーキング」) 等により、敷地南側の公園施設との調和がはかられている。また、風力発電設備「森の塔」は、施設のシンボルとして上記コンセプトを体現している。

3 PFI手法を採用したことの評価

① エネルギーを効率的に利用する設備の導入によるランニングコストの削減

本施設では、次世代エネルギーとして期待されている燃料電池コージェネレーションシステムや、スポーツ施設としては大規模な蓄熱量の氷蓄熱システム等、エネルギーを効率的に利用する設備・技術を導入することにより、ランニングコストの削減と環境共生型の施設整備が実現されている。



② 最新鋭の設備導入によるスポーツ振興への貢献

民間事業者の提案により、メインプールにスイミングスキルを飛躍的に向上させる泳

力解析技術「スイムストロークウォッチャー¹」を西日本で初めて導入した。本設備導入により、トップレベルでのトレーニングが可能となり、選手・指導者の育成やスポーツ振興に寄与している。

4 事業者選定後の状況

① 多様なプログラムの実施や民間事業者発案の料金設定等による需要予測を上回る利用者数の実現

本事業では、①利用者増加に向けて選定事業者インセンティブを働かせる。②利用者数の変動による収入変動リスクを緩和する。ことを目的に、提案運営収入と実質運営収入の差額を、事業者2、県1の割合でシェアするスキームを採用した。

また、施設内で行う運営プログラムはすべて民間事業者の業務範囲としており、スイミング教室（スイミングスクール、ウォーキング等）、フィットネス教室（エクササイズ、ヨガ等）等、世代、目的及び体力に合わせた多様なプログラムが展開されている。さらに、会員制度（月額）の採用や、駐車場整備を行ったことに加え、新規バスルートが設定されたこと等により、市の外縁部という集客上不利な立地条件にもかかわらず、提案時の需要予測を上回る利用者数が達成されている。

一方、身体障害者も安心して利用できる施設（バリアフリー型施設整備、付添い人1名の施設使用料を無料等）となっており、現在、身体障害者の会員数は64人（平成19年3月末現在）である。

② モニタリングの状況

月に一度の定期モニタリングに加え、四半期ごとにアドバイザーも含めたモニタリングを実施している。また、兵庫県による年に二回の利用者アンケートの実施、民間事業者の提案によるご意見箱の設置等により、公共側と民間事業者側双方で、利用者からの積極的な意見募集を行い、運営方法の改善に努めている。

まとめ

- 本事業は、施設内容について民間事業者からの自由提案の余地を大きくし、また運営・維持管理に係るすべての業務を民間事業者にゆだねている。
- 燃料電池コージェネレーションシステム等、エネルギーを効率的に利用することにより、ランニングコストの削減が実現されている。
- 事業者提案による最新設備導入や多様な運営プログラムの実施、利用者増加のインセンティブを働かせる事業スキームの構築等により、集客施設として不利な立地条件にも関わらず、提案時の需要予想を上回る利用者数を達成している。

¹ プール上部からのカメラ画像をコンピューターで解析して、水泳者のストロークデータをリアルタイムで自動計測するシステム。